

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成19年12月22日

## 【評価実施概要】

事業所番号	2970300287		
法人名	有限会社 かもん		
事業所名	やたさん元気村		
所在地	奈良県大和郡山市矢田町4446-4 (電話) 0743-53-3469		
評価機関名	奈良県国民健康保険団体連合会		
所在地	奈良県橿原市大久保町302-1 奈良県市町村会館内		
訪問調査日			

【情報提供票より】(19年11月25日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	平成 13年 4 月 1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	7 人	常勤 6人, 非常勤 1人, 常勤換算	6.6人

### (2) 建物概要

建物構造	軽量鉄骨一部木造造り		
	2階建ての	1 階 ~	2 階部分

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	36,750 円	その他の経費(月額)	15,750 円
敷 金	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	100,000円	有りの場合 償却の有無	無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり		925円

### (4) 利用者の概要(11月25日現在)

利用者人数	9 名	男性	4 名	女性	5 名
要介護1	4 名	要介護2	3 名		
要介護3	2 名	要介護4	名		
要介護5	名	要支援2	名		
年齢	平均 80.03 歳	最低	70 歳	最高	91 歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	(財)信貴山病院 ハートランドしぎさん
---------	---------------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

矢田丘陵の麓で田畑が広がる自然豊かな地に、民家を改造され開設されました。ここでは、普通家庭での生活をエンジョイ出来ることを運営方針とされ、利用者本位の支援がなされています。利用者も、自分の能力や特技を生かし、かつ、自分のペース・リズムで生活されています。また、家族との泊旅行も取り入れ、相互の信頼関係の維持と構築に努められています。

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	注意が必要な物品の管理・保管については、場所の確保が図られ安全に管理されていますが、入浴時間帯について工夫・検討を期待します。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	自己評価の結果については職員に周知され、暮らしの支援に活かす取り組みがなされていますが、評価に当たり全職員が参画し検討・分析する事で、より大きな効果をもたらすと考えられますので、今後期待します。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	運営推進会議は設置されていますが、設置間もないことから開催回数が少なく、会議の設置意義・目的を十分認識されていますので、効果的に機能するよう努められることを期待します。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	家族の訪問時や各種行事に参加された機会を捉え、意見や苦情等について聞きだす取り組みがなされ、課題の掌握と解決に職員会議で検討・実践する事とされています。なお、家族との信頼関係の構築に、一人ひとりの暮らしの様子を詳細に手書き連絡する等の工夫もされています。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
重点項目	代表者が地元育ちの関係から従前からの付き合いがあり、利用者の外出時に住民との挨拶や声かけが自然になされ、また、地域の行事への参加とホーム行事への招待等地域との関りを大切に運営されています。

## 2. 評価結果(詳細)

(  部分は重点項目です )

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印 )	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	運営規程に係る市町村や地域の保険・医療・福祉サービスとの連携が定められており、また、散歩時等で出会う地域の方と気軽に接し、地域住民との交流にも努められています。		地域密着型サービスに制度改正され、地域社会との関りを重視された事から、従来からも地域の各種行事への参加と共にホームの催物への招待等により地域との交流が図られていますが、改正の趣旨を踏まえ規程の検討が望まれます。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	基本理念をフロアの見やすい場所に掲出され、毎月開催される研修会で確認し合う取り組みがなされ、毎日の支援の中に活かされています。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域との関りを大切にして、各種行事に積極的に参加し、ホームの催し物に招待される等地元住民との交流が図られています。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	サービス評価のねらいや意義については正しく認識されており、自己評価と外部評価の結果についての課題等について検証し、サービスに活かす取り組みがなされています。		自己評価に当たっては、全ての職員の参画の下に実施されることで、問題点の整理や職員の意識向上に繋がりますので、次回の自己評価に活かされる事が望まれます。
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこの意見をサービス向上に活かしている	行政職員や地元代表者を含め幅広くメンバーを委嘱され運営推進会議が設置されていますが、設置間もない事から開催回数も少なく、会議が機能するまでには至っていない様に感じます。		運営推進会議の役割・機能については、十分認識されていますので、当会議を活用されサービスの質の向上に活かして行かれる事を期待します。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	予てから、行政との連携を積極的にとられて来ましたが、制度改正により、各種情報の交換や運営上の課題の相談等一層の連携強化に努められています。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族との信頼・協力関係の構築は極めて大切と考え、職員が手書きによる一人ひとりの暮らしの様子や金銭消費の状況を毎月報告されています。また、健康状態についても適宜連絡されています。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族の訪問時やホームの各種行事に参加された機会を捉え、意見や苦情等について積極的に聞きだす取り組みがなされている他、家族会に於いても要望等について聞き出し、サービスに活かす事とされています。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	安定した生活の継続確保は、馴染みの関係を作ることが大きな要素であると認識され、職員異動は極力抑制に努められています。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	代表者は、職員の育成には大変熱意があり、外部の認知症に関する各種研修会に積極的に参加されています。参加者は、レポートを作成しすべての職員の学習となるよう回覧等により、職員育成が図られています。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	管理者等幹部職員は講演会やセミナーに参加し、同業者との情報交換や交流に努められています。		職員が、同業者との訪問交流を通じて得る情報は、サービスの質と職員の意欲の向上の大きな効果をもたらすと考えますので検討される事を期待します。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	利用は本人の納得が前提との考えから、体験利用も実施され徐々に馴染みの関係を作りスムーズな利用に努められています。また、家庭を訪問し本人の環境について調査され、居室環境の整備に工夫する事とされています。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用時に得た生活歴等の情報と利用後の生活の状態を十分把握のうえ、能力が発揮できる機会の設定に工夫されると共に、充実・安心できる生活維持に協働されています。		
<b>その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の暮らしの中から、一人ひとりの思いや意向の把握に努められているほか、家族からの情報を基に、その人らしく生活が送れるように努められています。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	介護計画は、その人らしく暮らし続けることを前提に全職員参画の下に作成されています。作成に当たっては、家族の意見やカンファレンスでの情報を基本にされています。		
16	37	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画の期間を6月とされ、定期的な見直しは勿論、状態に変化が見られる時には、関係者と相談され随時見直しが行われています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	利用者の要望(買い物・受診等)に応じて、送迎支援はもとより、デイケアの利用や足浴温泉の活用等柔軟な支援がなされています。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	定期的に看護師の訪問による相談体制があり、月1回は職員同行によるかかりつけ医の受診支援がなされています。なお、状態に変化が見られる時には、家族と相談され適切に対応されています。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化や終末期への対応について、ホームが支援出来る範囲を利用時に説明されていますが、明確な指針の作成と職員に方針の徹底を図るところまで至っていない様に思われます。		終末期への対応について積極的に検討されていますが、克服すべきさまざまな課題がある事から、明確な指針の作成を実現するまで至っていません。家族等にとって極めて高い関心事でもありますので、体制の整備と指針の作成に努められることを期待します。
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	毎月開かれている職員会議において、尊厳の遵守や個人情報の取り扱いについて徹底を図っておられ、利用者を常に人生の先輩と敬い言動に注意して支援されています。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的な生活の流れは設定されていますが、一人ひとりの状態を勘案して、本人の希望・ペースを尊重した支援に努められています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	調理場はオープンで、調理の様子や雰囲気伝わり、食に対する関心を誘発し、また、能力に応じて盛り付けや下・配膳を一緒に行うなど食事を楽しく・和やかに摂れる様に努められています。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴日及び入浴時間帯についての基本的な設定がなされています。利用者は、その範囲内で希望時間を選び「ゆっくり・のんびり」入浴を楽しめるように支援されています。		1日の入浴時間帯で、利用者全員がゆっくり入浴するには時間が短く思われますので、検討が望まれます。
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者の生活歴や家族からの情報を基に、特技や趣味(食事準備・洗濯物整理・清掃・野菜収穫等)を生かせる場面を作り、役割や楽しみ事を自然な形で行動できるように工夫・支援されています。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	外出により受ける効果の大きい事に着目され、日常的な周辺散歩と共に温泉足浴や外食等外出計画を立て、ゆったりした時間が持てるように支援されています。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	施設による弊害を認識され、職員のしっかりした見守りで対応されており玄関は常に開放されています。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	管轄消防署の指導の下に、避難・消火訓練を定期的に実施されていますが、被災時の地域の応援体制を構築するところまでは至っていません。		地域の応援・協力体制の整備について検討が進められていますので、早期に実現される事が望まれます。地震災害を考え、飲料水や非常物品の備蓄についても検討される事を期待します。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事の摂取量を詳細に記録されており、高齢者の健康管理上水分補給は極めて大切なことから特に留意されています。また、管理栄養士に栄養バランスについて随時相談されています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用生活空間に若干狭さを感じますが、行き届いた清掃や季節に応じた装飾等職員の支援体制と熱意により克服され、居心地よく過ごせるよう配慮・努力されています。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者は、使い慣れた家具・調度品やお気に入りの人形等が持ち込まれ、安心して暮らせる居室となっています。		